

質問紙調査の結果分析

- 「運動が好き、やや好き」な児童は90%を超えている。「嫌い」とした児童はいない。
- 「体育の授業は楽しい、やや楽しい。」についても、92%を超えている。「楽しくない」とした児童はいない。
- 「最後までやり遂げてうれしかったことがある」で肯定的な回答をした児童は、100%である。
- 「体育の授業で学んだ内容は、将来役に立つ」の児童の割合は、全国より低い傾向にある。
- 「体育の授業で動く」と答えた女子の児童の割合が、全国に比べて低い。

①教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 準備体操では、「ジャンプアップ運動」を取り入れ、体温を高めて主運動につなげる。
- 1人1人の運動時間を確保して運動量を増やし、体力の向上を目指す。
- 授業の終わりに、「振り返り」の時間を設け、「できるようになったこと」「友達と運動しての感想」等を行い、体育授業の充実を図る。
- 掲示物を利用して話し合う活動を適宜取り入れ、児童が学び合う授業づくりを目指す。

②運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 毎日の生活の中での外遊びの励行、徒歩登校の奨励。
- 縦割り活動での「遊びの日」などの取組により、運動する楽しさを味わわせる。
- 1校1取組で、「なわとび」「持久走」の取組を隔年で進め、体力向上を目指す。
- 学校行事「平尾台ウォーキング」に向けての「平尾台へGO！」(学校から平尾台までの距離を運動場で走る)の取組の推進。